

博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 老年看護学分野
科目コード:250004

老年看護演習 I (慢性期看護) Advanced Seminar I in Gerontological Nursing

担当教員	北村言、松本勝				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	45		
Keywords	慢性期疾患ケアの本質、アセスメント、生活支援、リハビリテーション、遠隔看護				
学習目的・目標	長期間の罹患経過のなかでセルフコントロールをしながら療養する高齢者に対するアセスメントと生活支援のための高度な看護実践能力を養う。 - 慢性疾患の進行と加齢変化から重複して生じるリスクと、高齢者の力を生かした生活の質の維持の両面から、新たな看護の方法を考えることができる - 慢性期に罹患した高齢者と家族の長期にわたるセルフケア能力と加齢による変化をアセスメントする事ができる - 生活機能障害のある高齢者への看護援助やリハビリテーションの知識と技術を身につける				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1-2	オリエンテーション テレナーシング、遠隔看護			講義・演習	北村言、松本勝
3-6	高齢者ケアに活かすリハビリテーション① リハビリテーション、最新の車椅子			講義・演習	北村言、松本勝
7-10	高齢者ケアに活かすリハビリテーション② シーティング、ポジショニング			講義・演習	北村言、松本勝
11-13	高齢者ケアに活かすリハビリテーション③ 運動療法、物理療法			講義・演習	北村言、松本勝
14-16	摂食・嚥下アセスメントとケア			講義・演習	北村言、松本勝
17-20	高齢者ケアのためのXR技術の活用			講義・演習	北村言、松本勝
21-22	まとめ			討議	北村言、松本勝
教科書					
参考図書等	適宜紹介する				
評価指標	討議への参加度(40%)、レポート(60%)				
関連科目	老年看護特論、高齢者ケアシステム論、老年看護演習II(認知症看護)				
教員から学生へのメッセージ	エビデンスに基づいた看護実践を提供できる力を身につけていきましょう。				

